



X-TOUCH ONE

Universal Control Surface with Touch-Sensitive Motor Fader and LCD Scribble Strip

JP

JP 安全にお使いいただく
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (14"TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

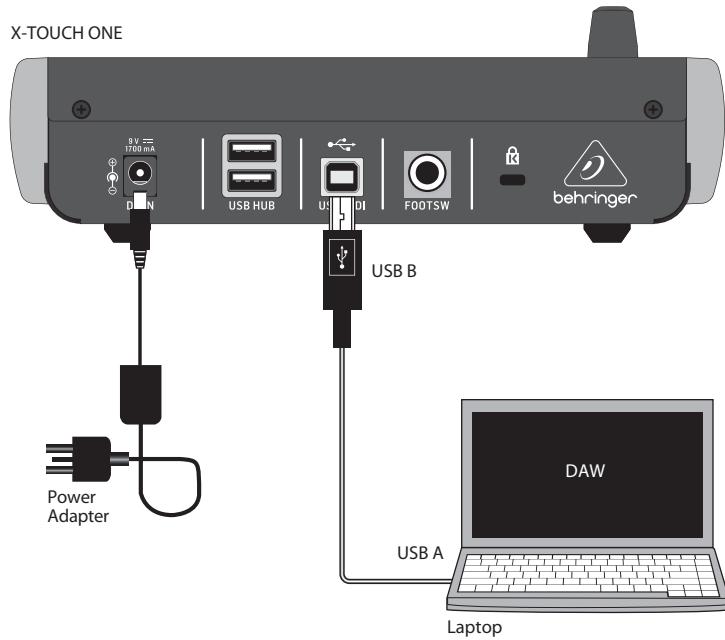
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

X-TOUCH ONE フックアップ

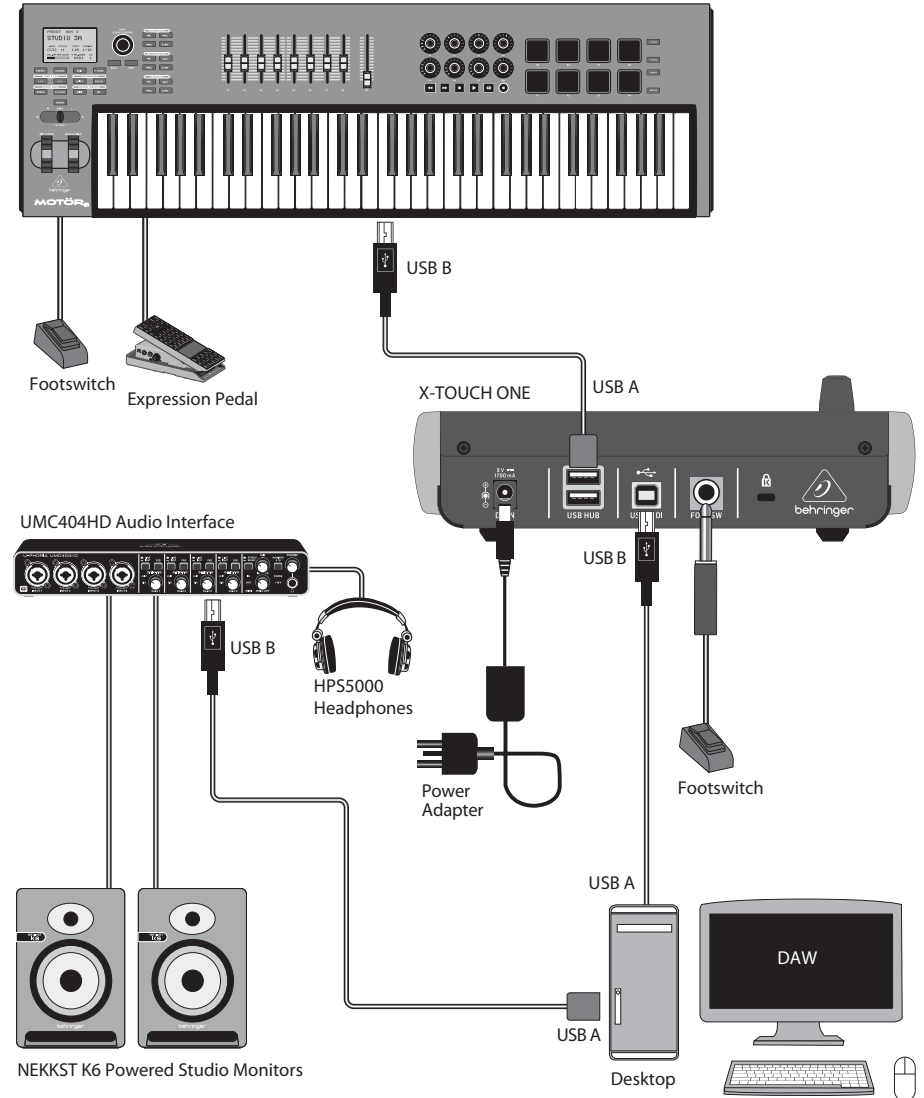
ステップ 1: フックアップ

シンプルな一般的な DAW コントロールシステム



MIDI キーボード/コントローラーを組み込んだ、一般的なスタジオシステム

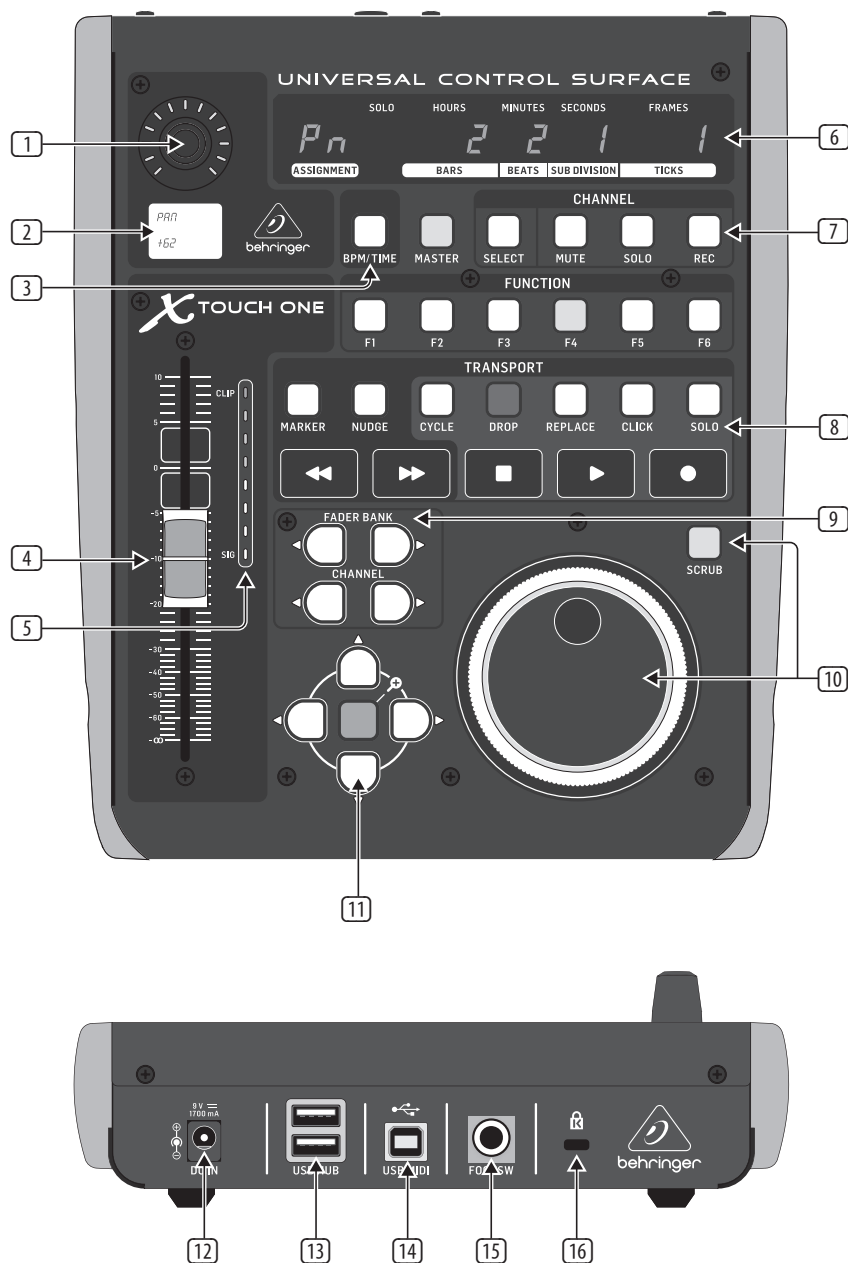
MOTÖR 61 MIDI Keyboard/Controller



X-TOUCH ONE コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



オペレーションモード

X-TOUCH ONE は、すべての互換音楽制作ソフトウェアとのシームレスな統合のため、Mackie コントロール、HUI、および MIDI コミュニケーション プロトコルに対応しています。モードの変更、画面のブライトネスおよびコントラスト調整の手順については、本ガイドの“スタートアップ”の項をご覧ください。

X-TOUCH ONE の各ボタンの機能は、ご使用になるデジタルオーディオワークステーション (DAW) により変化します。そのためお使いの DAW における外部コントロール機器の操作について、DAW の取扱説明書をよくお読みいただくことを推奨します。

オーバーレイ テンプレート

X-TOUCH ONE には、各種人気 DAW 用の複数のオーバーレイが付属しています。

オーバーレイは X-TOUCH ONE トップパネルにぴったり装着でき、各 DAW の一般的なボタン機能が記されています。

他の DAW をお使いの場合は、“MC ユーザー” テンプレートを使用し、DAW で各ボタンに割り当てている機能を記入してください。

一般的なオペレーション

X-TOUCH ONE は出荷時、標準 Mackie コントロールモードとなっており、トップパネルの印刷はこのモードに対応したものになっています。Mackie コントロールモード時の、DAW アプリケーシ

ョンにおける X-TOUCH ONE コントロールの代表的な機能は、下記の通りです:

プッシュ エンコーダーノブ、デテントおよびプッシュ機能 (非点灯)、リング状 13 分割 LED を備えた、エンドレスエンコーダーです。DAW アプリケーションでは一般的に、チャンネルの左右の定位調節に使用します。

- ① LCD 画面 – この画面には、DAW と同様の各種パラメーターおよびラベルが表示されます (表示項目は、完全に DAW により制御されます)。オペレーションモードの変更操作中は、この画面にモードも表示されます。
- ② BPM/Time (BPM/タイム) – このトグルを押して、BPM 画面/タイム画面を切り替えます。
- ③ フェーダー – タッチセンシティブの 100 mm モーターフェーダーで、通常、DAW アプリケーションで選択しているチャンネルのレベルを精密に制御します。MASTER (マスター) ボタン有効時は、このフェーダーで DAW のマスター音量を調節します。
- ④ チャンネルメーター – チャンネルの信号レベルを表示する 8 個の LED メーターで、信号が存在する時には SIG (信号) LED が点灯し、信号がクリップすると CLIP (クリップ) LED が点灯します。メーター計測は完全に DAW により制御します。

X-TOUCH ONE コントロール

① 画面 – SMPTE タイムコードを時間/分/秒/フレーム単位、または BBT バー/ビート/ティック単位で画面に表示します。BPM/Time ボタンを押して、この 2 つの表示モードを切り替えます。

② Master/Channel Select (マスター/チャンネル セレクト) ボタン – 個別の DAW ミキサーチャンネルアプリケーションに使用するボタンです:

Master (マスター) – X-TOUCH ONE のフェーダーをマスター音量調節に使用する際、有効にします。

Select (セレクト) – このボタンを有効にすると、現在のチャンネルを編集可能になります。その際ミキサーのコントロール類は、選択チャンネルのセットアップ用途に特化されます。

Mute (ミュート) – チャンネルをミュートします。

Solo (ソロ) – ミックス内の選択したチャンネルのみ聴こえるようにします。

Rec (録音) – チャンネルを録音待機状態にします。

トランスポート ボタン – ユニット下部にある、5 個のお馴染みのマークのボタンで、DAW のトランスポートアプリケーション (巻き戻し/早送り/停止/再生/録音) に使用します。

③ Fader Bank (フェーダーバンク) および Channel (チャンネル) – 右または左のバンクボタンを押すと、8 チャンネルずつ前後に移動します。チャンネルボタンでは 1 チャンネルずつ前後に移動します。

④ ジョグ/シャトル – DAW でのオーディオ編集に使用するホイールです。[SCRUB (スクラブ)] ボタンを押すと、ホイールをジョグ/シャトルの間で切り替えます。

⑤ ナビゲーションボタン – DAW で、画面内の上下・左右移動、ズームなどをおこないます。

⑥ 背面パネル

⑦ DC IN (DC 入力) – ここに付属の 9VDC 電源アダプターをしっかりと接続します。電源アダプターのもう一端を AC 電源に接続します。付属の電源アダプター以外は使用しないでください。

⑧ USB ハブ – USB マウス、キーボード、USB MIDI キーボードなどの外部 USB ハードウェアを接続する、2 つの USB A タイプコネクターです。

ハブは X-TOUCH ONE ではなく、コンピューターと直接通信をおこないません。各コネクターから 5V の USB パワーを供給できます。ハブが有効なのは、X-TOUCH ONE の電源がオンで、起動中のコンピューター経由で USB MIDI コネクターに接続している時のみです。

⑨ USB MIDI – コンピューターの USB ポートと接続し、MIDI データ転送 (送信/受信)、および USB ハブ通信に使用する、USB B タイプコネクターです。

⑩ FOOTSWITCH (フットスイッチ) – 標準的なサステインペダルを接続して MIDI データを制御するための、 $\frac{1}{4}$ インチコネクターです。

⑪ ケンジントン ロック – 盗難防止機器を接続可能な、セキュリティ用ホールです。

X-TOUCH ONE はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

このスタートアップガイドでは、X-TOUCH ONE のセットアップ方法解説と、本機機能についての簡潔なご紹介をいたします。X-TOUCH ONE は正確なタッチとフィールで DAW を制御できる、高品質コントローラーです。34 個の便利なライト付きボタン、回転式プッシュエンコーダー、大きなジョグ/シャトルホイール、そしてタッチセンシティブな 100 mm モーターフェーダーを搭載し、様々な DAW を多様なオペレーションモードで操作可能です。

ソフトウェア セットアップ

X-TOUCH ONE は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、Windows または Mac OS で使用する場合、ドライバのインストールは不要です。

ハードウェア セットアップ

付属の USB ケーブルを使用して、コンピューターの空いている USB ポートに、X-TOUCH ONE を直接接続します。システムその他の接続もすべて済ませます。付属の電源アダプターを X-TOUCH ONE に接続し、AC 電源に接続してから、電源を入れます。現在のファームウェアバージョン番号が短い時間表示されます (例: 1.02)。

オペレーションモード

X-TOUCH ONE はすべての互換音楽製作ソフトウェアとのシームレスな統合のため、Mackie コントロール、HUI、および MIDI コミュニケーション プロトコルに対

応しています。

ユニットに印刷された文字は、標準 Mackie コントロール MC プロトコルに対応しています。その他のモードに関してはそれぞれ専用の、フロントパネルにフィットするオーバーレイをご用意しています。

MC – 各種の代表的 DAW に対応した 8 種類の MC モードがあります。そのうちの一つが標準 Mackie コントロールモードで、X-TOUCH ONE 出荷時の初期のモードとなっています。もう一つの [MC User (MC ユーザー)] モードは、ユーザーが任意で個々のボタンを割り当てることができます。

HUI – HUI モードは 2 種類です: 標準 HUI モードと、Pro Tools 用の HUI PRO モードです。

MIDI – 4 つの MIDI コントローラー モードがあり、エレメントごとに固定 MIDI メッセージを送信できます。うち 2 つはボタンからノートメッセージを送信するモードで、2 つはコントロールチェンジ (C) メッセージを送信します。各モードでエンコーダーはアブソリュートもしくはレラティブのいずれかとなります。12 ページの表に、いくつかのオペレーションモードが記載されています。

オペレーションモードの変更

1. X-TOUCH ONE のオペレーションモードを変更するには、まずエンコーダーノブを長押ししながら、X-TOUCH ONE の電源をオンにします。

2. ユニットの電源がすでにオンになっている場合は、トランスポート部の [STOP (停止)] ボタンを長押ししながら、エンコーダーノブを押して、セットアップモードに入ります。
3. LCD 画面に目的のモードが表示されるまで、エンコーダーノブを回します。
4. もう一度エンコーダーノブを押し、回転して、LCD コントラストを調節します。
5. さらにエンコーダーノブを押して、回して LED 画面のブライトネスを調節します。
6. エンコーダーノブを押すと設定を保存し、通常のオペレーションに戻ります。
7. オペレーションモードに適したオーバーレイテンプレートを並び、トップに重ねます。

MC ユーザーモード

MC ユーザーモードでは、15 ページのリストに記載されている MC 機能を、いずれのボタンにも割り当て可能です (一番上のマスター/チャンネル部の 5 つのボタンを除く)。詳細は 14 ページの表をご参照ください。

ボタンの割り当ては X-TOUCH ONE を MC ユーザーモードにしたすぐ後におこないます (LCD コントラストおよび LED ブライトネスの調整前)。

1. いずれか任意のボタンを長押しすると、[ASSIGN (割り当て)] の文字が LED 画面に表示されます。

2. ボタンを押したまま、エンコーダーノブを回して、ボタンに割り当てる新規 MC 機能をリストから選択します。その後ボタンから指を離します。
3. すべてのボタンをお好みに応じて割り当て終わるまで、手順 1 および 2 を繰り返します。
4. エンコーダーノブを再度押して LCD コントラストおよび LED ブライトネスを調節し、X-TOUCH ONE の通常のオペレーションモードに戻ります。

DAW セットアップ

DAW ソフトウェアで、下記から適したコントロールサーフィスを選択します:

MC – X-TOUCH ONE を MC モードでご使用の場合、DAW のコントロールサーフィスには [Mackie Control] (または [Mackie Control Universal]) を選択します。X-TOUCH ONE は MC モードの時 Mackie コントロールのオペレーションをエミュレートするので、DAW で必ずこのコントロールサーフィスをお使いください。異なる MC オペレーションモードは、異なる DAW に対応します。もし既存の割り当てが意に沿わない場合は、MC ユーザー オペレーションを選択していただくと、お好みに応じた DAW への割り当てが可能です。

HUI – X-TOUCH ONE を HUI モードでご使用の場合、DAW のコントロールサーフィスには [Mackie HUI] を選択しま

す。Pro Tools をご使用の場合は、[HUI PRO] をご選択ください。

MIDI – X-TOUCH ONE を MIDI モードでご使用の場合、DAW で MIDI コントローラーとして選択してください。お使いの DAW の MIDI ラーン機能を使用し、X-TOUCH ONE の各ボタン/コントロールを、DAW の機能やコントロール類、またはプラグインコントロールにマッピングしてください。

ファームウェアアップデート

当社ウェブサイトの X-TOUCH ONE の製品ページで、ファームウェアアップデートの有無をぜひご確認ください。現在ユニットに搭載されているファームウェアよりも新しいバージョンがある場合は、新しいファイルをお使いのホストコンピューターにダウンロードしてください (ユニットのファームウェアバージョンは、電源をオンにした後、短い時間表示されます)。

ファームウェアアップデートモードに入るには、右上の [CHANNEL (チャンネル)] 部の REC ボタンを長押ししながら、X-TOUCH ONE の電源をオンにします。

SysEx コマンドを使用してファームウェアファイルを送信するには、MIDI OX などの MIDI コーティリシティが必要です。ファームウェアをダウンロードいただくと詳しいガイダンスも付属しますので、そちらに従ってください。

X-TOUCH ONE 動作モード

MC Std	MC*	Mackie Control Mode ...	Standard Assignment (as printed on the panel)	No template
MC Live	Li	Mackie Control Mode for ...	Ableton LIVE	Ableton LIVE
MC Cub	Cu	Mackie Control Mode for ...	Steinberg CUBASE	Steinberg CUBASE
MC Logic	Lo	Mackie Control Mode for ...	Apple LOGIC	Apple LOGIC
MC S1	S1	Mackie Control Mode for ...	Presonus STUDIO ONE	Presonus STUDIO ONE
MC Reap	rE	Mackie Control Mode for ...	Cockos REAPER	Cockos REAPER
MC TWfm	t	Mackie Control Mode for ...	Tracktion / Waveform	TRACKTION / WAVEFORM
MC user	U	Mackie Control Mode for ...	Free assignment of the buttons**	Empty template (with free text fields)
HUI Std	HU	HUI Mode ...	Standard Assignment of Mackie HUI protocol	HUI Standard
HUI Pro	HP	HUI Mode for ...	Avid PRO TOOLS	Avid PRO TOOLS
Midi	NI	Standard MIDI mode ...	Buttons use NOTE commands, others CC, Encoder turn = ABSOLUTE mode	MIDI Standard (push = Notes)
MidiRel	Nr	Standard MIDI mode ...	Buttons use NOTE commands, others CC, Encoder turn = RELATIVE mode	(Same template as row above)
CChg	CC	Standard MIDI mode ...	Buttons use CC commands, all other elements too, Encoder turn = ABSOLUTE mode	MIDI Standard (push = CCs)
CChgRel	Cr	Standard MIDI mode ...	Buttons use CC commands, all other elements too, Encoder turn = RELATIVE mode	(Same template as row above)

* During a change in the Operation Mode, the ASSIGNMENT section in the left of the main display will show the abbreviation for the currently assigned mode. The text in this left section will also change depending upon your DAW, or it may even be blank.

**In MC user mode, buttons can be freely assigned with Mackie Control parameters (see page 12 and 15).

X-TOUCH ONE モード

MIDI Send CC

Buttons Send (MIDI CC mode): CC #0 to 34 (push: value 127, release: value 0)

Fader Move: Control Change 70 (value 0 to 127), receive and transmit

Fader Touch: Note On #110 (touch: velocity 127, release: velocity 0)

Encoder Absolute mode: Control Change 80 (value 0 to 127)

Encoder Relative mode: Control Change 80 (increment: value 65, decrement: value 1)

Jog Wheel: Control Change 88 (turn Clockwise: value 65, turn Counter Clockwise: value 1)

Foot Switch: Control Change 64 (push: value 127, release: value 0)

MIDI Send Note

Buttons Send (MIDI Note mode): Note #0 to 34 (push: velocity 127, release: velocity 0)

Fader Move: Control Change 70 (value 0 to 127), receive and transmit

Fader Touch: Note On #110 (touch: velocity 127, release: velocity 0)

Encoder Absolute mode: Control Change 80 (value 0 to 127)

Encoder Relative mode: Control Change 80 (increment: value 65, decrement: value 1)

Jog Wheel: Control Change 88 (turn Clockwise: value 65, turn Counter Clockwise: value 1)

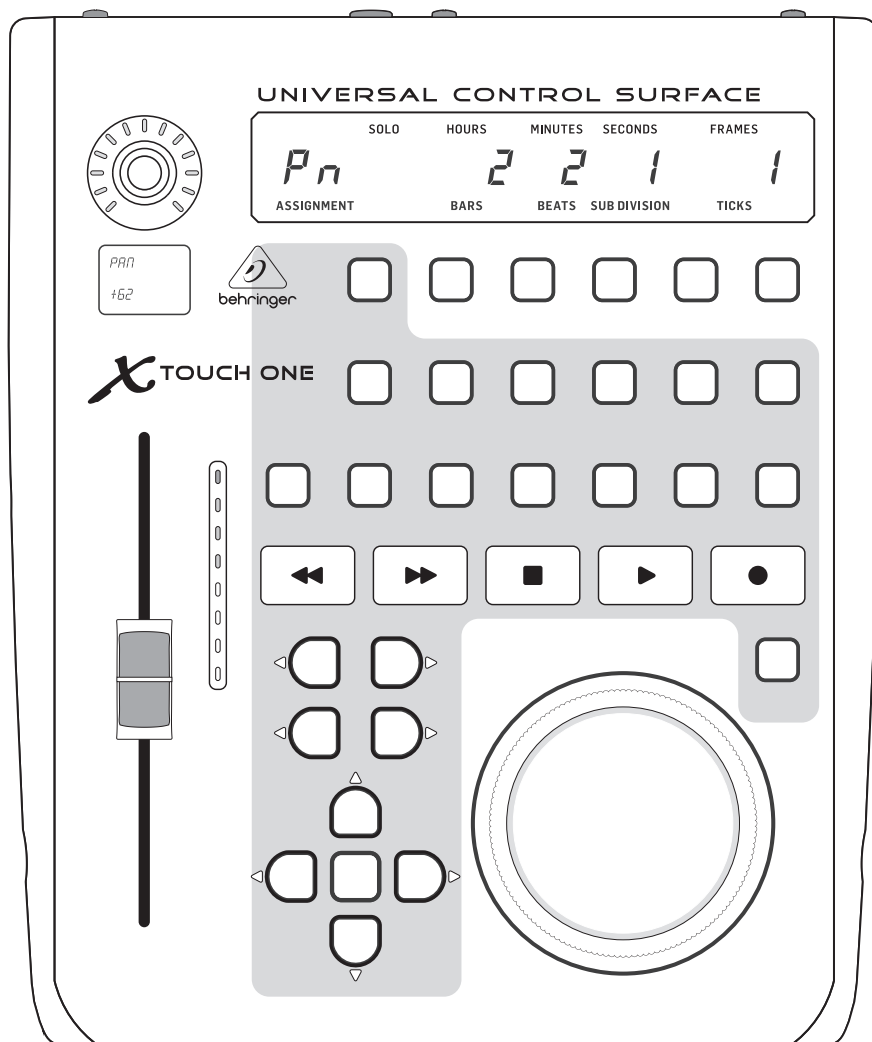
Foot Switch: Control Change 64 (push: value 127, release: value 0)

MIDI Receive

When the X-TOUCH ONE receives MIDI commands (either in MIDI CC mode or Note mode) then the following components can be controlled:

- Encoder LED Ring
 - Encoder Receive CC 80, value 0...127 controls the LED ring indication (from left to right, only 1 LED on at a time)
 - Button LEDs
 - Button Receive CC with value 0...63 = button LED off; value 64 = button LED blinking; value 65...127 = button LED on
 - Button Receive Note with velocity 0...63 = button LED off; velocity 64 = button LED blinking; velocity 65...127 = button LED on
 - LED Meter
 - Level Meter Receive CC 90, value 0...127 (bottom/SIG to the top/CLIP, only 1 LED on at a time).
 - Fader Position
 - Fader Receive CC 70, values 0...127 will remotely move the fader.
- The LCD Display and LED segment display can be affected by sending SysEx messages as follows:
- LCD display:
 - SysEx (hex) F0 00 20 32 dd 4C 00 cc c1 .. c14 F7
 - dd: device id (X-Touch: 0x41)
 - cc: bits 0-2: backlight color (black, red, green, yellow, blue, magenta, cyan, white)
 - cc: bit 4: invert upper half of LCD
 - cc: bit 5: invert lower half of LCD
 - c1..c14: ascii characters (1..7: upper half, 8..14: lower half)
 - Segment Display:
 - SysEx (hex) F0 00 20 32 dd 37 s1 .. s12 d1 d2 F7
 - s1..s12: segment data (bit 0: segment a, .. bit 6: segment g)
 - d1: dots for displays 1..7 (bit 0: display 1, .. bit 6: display 7)
 - d2: dots for displays 8..12 (bit 0: display 8, .. bit 4: display 12)

X-TOUCH ONE - MC ユーザーモード



1. Encoder Assignments	2. Master Section	3. Function Keys
Off	BANK <	F1
TRACK	BANK >	F2
SEND	CHAN <	F3
PAN	CHAN >	F4
PLUG-IN	FLIP	F5
EQ	GLOBAL (view)	F6
INSTR	NAM/VAL (display mode)	F7
	SMPTE/B (transport display)	F8
4. View Options	5. Modifiers	6. Automation
MIDITRK (MIDI Tracks)	SHIFT	READOFF
INPUTS (Inputs)	OPTION	WRITE
AUDIOTR (Audio Tracks)	CTRL	TRIM
AUDIOIN (Audio Inst.)	ALT	TOUCH
AUX		LATCH
BUSSES		GROUP
OUTPUT		
USER		
SAVE	MARKER	REWIND
UNDO	NUDGE	FFWD
CANCEL	CYCLE	STOP
ENTER	DROP	PLAY
	REPLACE	RECORD
	CLICK	
	SOLO	
UP (Cursor)	SCRUB	
DOWN (Cursor)	FOOT 1	
LEFT (Cursor)	FOOT 2	
RIGHT (Cursor)	[FDR <]	
ZOOM (Cursor)	[FDR >]	

JP 技術仕様

JP

コントロール

LED カラー付きロータリー/プッシュ制御	1
LED バックライト付きボタン	34
フェーダー	電動フェーダー 1個、100 mm、 タッチセンシティブ
ホイール	1 ジョグ/シャトル
足踏みスイッチ	¼" TS

表示

時間	7 セグメント LED x 10
回転制御位置	13 セグメント LED
割り当て	7 セグメント LED x 2
チャンネルレベル	SIG および CLIP を備えた 8 セグメント LED
チャンネル表示	カラー LCD 落書きストリップ x 1

コンピューター接続

USB	USB 2.0、タイプB
-----	--------------

USB ハブ

タイプ	マルチ TT USB 2.0
コネクタ (x2)	USB 2.0、タイプA
電圧 (外部デバイスへの USB 電源)	5 V

電源

タイプ	外部電源
外部電源入力	9 V DC
消費電力	15 W

物理的

標準動作温度範囲	5°C - 40°C (41°F - 104°F)
寸法 (H x W x D)	65 x 196 x 233 mm (2.6 x 7.7 x 9.2")
重量	1.5 kg (3.3 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧

の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You